

審議（会議）結果

審議会等名称 第 361 回 神奈川県開発審査会  
開催日時 平成 30 年 8 月 2 日（木） 10:30～11:15  
開催場所 波止場会館 1 階 多目的ホール  
出席委員 （会長）笹井俊克、（会長職務代理）田中治  
板垣勝彦、佐藤茂樹、川口和英、安納住子、藤代ゆうや  
次回開催予定日 平成 30 年 11 月頃  
所属名、担当者名 県土整備局 建築住宅部 建築安全課 審査会グループ 根本  
掲載形式 議事概要  
議事概要とした理由 公正かつ円滑な会議の運営に支障があると判断されるため  
審議（会議）経過

1 会長の選出及び会長職務代理の指名＜非公開＞

今期の会長に笹井委員を選出し、会長職務代理に田中委員が指名された。

2 開発許可等申請（一般案件）について

都市計画法に基づく付議案件 2 件（公開 1 件・非公開 1 件）の審議を行い、全て承認された。

（1）第 5309 号（提案基準 10：運動施設（野球場附属建築物））＜公開＞

建築指導課から、処分庁平塚土木事務所による提案資料に基づき案件の概要説明が行われ、以下のとおり質疑応答がなされた後、承認された。

《発言要旨》

（委員）建築物だけでなく、野球場全体として見ると 2 万平米を超える面積になっているが、地目は全て田んぼか。

（平塚土木）地目は全て田んぼである。

（委員）直近の利用状況は。

（平塚土木）休耕地状になっており、今は原っぱになっている。

（委員）休耕地状で現況原っぱということだが、田んぼとして長く使われてきた 2 町歩を超える広大なエリアを活用していくということになると、田んぼでもともと遊水機能を持ったところで、土を盛ったり建築物を建てたりすると地盤沈下のおそれなどもあると思うが、その辺の対策は立てているのか。

（平塚土木）今回のグラウンド整備に当たり、地盤改良を計画している。地盤改良の材

料については、周辺に農地があるので、六価クロム等が発生しない材料を使うという形で農業委員会とも調整している。

また、盛土についても、田んぼで周囲より少し低くなっているので、1.3～2メートルほど盛土を行い、周囲から雨水が流入しないようにし、また、施設内の雨水が周囲に流出しないよう、遊水地を設け、グラウンド内の雨水排水に配慮している。

(委員) スタンドは何席か。駐車場などの対応は大丈夫か。

(平塚土木) グラウンドとしては平面に整備して、そこにネットフェンスを設けて野球をするスペースをつくるという程度の整備である。建築物の2階部分に観覧席があるが、最大120名の収容がある。内訳としては、応援の父兄も含めて両チーム60人ずつが入ることを想定した計画で、余り過大な観覧席はつくらず、もともと平らなグラウンドに必要な最低限の建築物をつくるという形で計画している。

駐車場としては、春と秋に公式戦があり、そのときに審判や父兄などが利用するというので、10台程度を用意している。あとは、ほかの高校から来る大型バス用の駐車場を3台分用意している。練習試合であると1日に3チーム集まって3試合程度行うということなので、大型バスでも3台分あれば50人程度の方が来る分には対応できる必要最小限の計画となっている。

(委員) 野球場の両側に二級河川が通っているが、今回新たにトイレをつくるということで、洪水などが起きて万が一トイレが水浸しになってしまうと感染症の危険があるが、洪水対策はどうか。

(平塚土木) 二級河川の両側に3メートルを超える堤防があり、そこまで水位が上昇したことは過去に一度もない。

排水については、トイレ等があるので、公共下水道、汚水・雑排水は雨水排水とは別の管で、河川とは反対側の市道の方に流すという形で管理する。将来的には、地盤を河川より高くして、建物は水面より4～5メートル高い位置にあるという形になるので、そこまで河川の水が氾濫するということは想定せず計画している。

(委員) 防球フェンスは全て15メートルの高さの計画か。

(平塚土木) 南側に県道63号線があり、そのさらに南側に小田原厚木道路があり、コンピューターで飛球シミュレーションを行い、今は選手の力がかなりあるので、道路に面している部分については、マウンドに近いほうは高さ25メートル、外野のほうは高さ40メートルのフェンスで、道路にボールが飛び越さないよう計画している。それ以外のところもシミュレーションによって、高さ15メートルで球が出ないよう計画している。

(委員) 硬式野球か。

(平塚土木) はい。

(委員) 防球フェンスは、高さ40メートルくらいになると建築確認が必要になるのか。

(平塚土木) はい。15メートルを超えると建築確認、工作物確認が必要になる。

(委員) 防球フェンスはネットみたいなものか。

(平塚土木) 背の高いネットフェンスである。

(委員) ゴルフの打ちっぱなしのようなものか。

(平塚土木) はい。低いほうは既製品でネットフェンスというのがあり、それを使うと聞いている。

## (2) 第 5310 号 (その他：専用住宅) <非公開>

建築指導課から、処分庁平塚土木事務所による提案資料に基づき案件の概要説明が行われ、質疑応答がなされた後、承認された。

## 3 その他 <非公開>

次回の審査会の開催時期等について申し合わせを行った。